

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2006～2008年度

課題番号：18791744

研究課題名（和文） 慢性統合失調症患者のセルフケア能力のアセスメントツール開発

研究課題名（英文） Assessment tool development of chronic schizophrenia patient's self-care agency

研究代表者

池田 貴子（TAKAKO IKEDA）

高知女子大学・看護学部・助教

研究者番号：80405539

研究成果の概要：アセスメントツールは、エキスパートナースからの評価を受け、50の質問評価項目となった。本ツールによるアセスメントには、日頃から、患者の細かい情報をキャッチすることが必要であり、その人のもつ力を患者自身、看護者自身が共通に理解把握する必要があること、入院時患者がどのようにになりたいのかその目標や課題を明確にしていく必要性が再認識される結果となった。また、本ツールは、慢性統合失調症患者のセルフケア能力について看護師への現任教育にも使用可能であり、患者がもつ能力を理解し、その患者にあった目標・計画を立案する道具として活用できると考えられた。

交付額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
平成18年度	1,200,000円	0円	1,200,000円
平成19年度	900,000円	0円	900,000円
平成20年度	700,000円	210,000円	910,000円
総計	2,800,000円	210,000円	3,010,000円

研究分野：精神看護学

科研費の分科・細目：看護学・臨床看護学

キーワード：セルフケア能力 統合失調症 オレム理論 パワー構成要素

1. 研究開始当初の背景

日本の精神科看護にセルフケア看護モデルを導入した P.R.Underwood (1984) は精神

障害者のセルフケアは、自己洞察やセルフケアに向けての意欲や動機づけが乏しいため、看護者は患者のセルフケア行動を的確に査

定することの必要性を述べた。その後、精神障害者のセルフケア行動を的確に査定し、その結果をもとに患者の個別性を配慮したセルフケアへの看護アプローチの介入を行ったとする研究報告が増えており、同時に、よりの確に患者のセルフケア行動を査定できるエキスパートナースが必要とされている。しかし、近年、精神障害者の自己評価に対し、十分に有効であると述べた研究が増えており、また現在、精神科医療においても患者参加型の医療の標準化をめざす動向がある。精神疾患は慢性的な疾患であり、その予後は精神障害者自身の生活を含む環境と密接に結びついており、精神障害者自身の健康管理、セルフケアも重視されることとなる。したがって、精神障害者の意志決定を重視し、より質の高い医療・看護を提供するため、精神障害者が認知しているセルフケア能力を明らかにすることで、患者参加型の医療の標準化をめざす指標を検討することは意義が大きいと思われる。

2. 研究の目的

慢性統合失調症患者の意志決定を重視し、より質の高い医療・看護を提供するため、慢性統合失調症患者が認知しているセルフケア能力を明らかにすることで、患者参加型の医療の標準化をめざす指標を検討することを目的とする。

3. 研究の方法

(1) ステップ1：文献検討とオレム理論の10パワー構成要素をもとに慢性統合失調症患者のセルフケア能力の構成要素を決定する。

(2) ステップ2：作成したツール案とインタビューガイドを元に、エキスパートナースに慢性統合失調症患者のセルフケア能力をどのように捉えているのか、またどのように認知しているのかをインタビューを行う。

(3) ステップ3：エキスパートナースに対し、ツール案とツール評価シートを用いて評価をしてもらい、更なるツールの洗練化を行う。

4. 研究成果

(1) アセスメントツールは、エキスパートナースからの評価を受け10因子、50の質問評価項目となった。

(2) 本ツールによるアセスメントには、日ごろから、患者の細かい情報をキャッチすることが必要であり、その人のもつ力を患者自身、看護者自身が共通に理解把握する必要があること、入院時患者がどのようになりたい

のかその目標や課題を明確にしていく必要性が再認識される結果となった。

(3) 本ツールは慢性統合失調症患者のセルフケア能力について新人看護師に関わらず、看護師への現任教育にも使用可能であり、患者がもつ能力を理解し、その患者にあった目標・計画を立案する道具として活用できると考えられた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計0件)

[学会発表] (計0件)

[図書] (計0件)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

○取得状況 (計0件)

[その他]

特になし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

池田 貴子 (TAKAKO IKEDA)

高知女子大学・看護学部・助教

研究者番号：80405539

